

『ケブカトラカミキリ』による イヌマキの被害にご注意ください!!

【お知らせ】

イヌマキを食害する「ケブカトラカミキリ」という害虫の発生が市内で確認されました。早期の発見と防除対策が重要です。

この虫はカミキリムシの一種で、成虫の体長は約1cm、体全体が毛で覆われ、背面に帯状のトラ模様があります(写真2)。幼虫が樹皮下の形成層(水などが通る部分)を食害すると、樹体内の水分移動が困難となり、数カ月～数年で枯れてしまうことがあります。

※被害を受ける樹種：イヌマキとナギ(マキ科の樹木)

～被害を受けた樹木の症状～

- 直径3mm程度の成虫の脱出口(写真1)
- 葉の退緑と黄化症状(写真4、5)
- 樹皮下の幼虫の食害痕(写真3)
- 被害の伝搬(写真4)

《防除対策》

①被害を受けた樹木の伐採と伐採後の樹木の処分

(焼却、破碎、又は薬剤によるくん蒸処理による樹体内の幼虫や成虫の駆除)

②薬剤散布による成虫の駆除

被害が少ない場合には生育している樹木への薬剤散布も有効です。ただし、樹木への薬剤散布は「樹体内にいる幼虫や成虫には効果がない」ため、成虫が外部に脱出する4～5月に防除する必要があります。

(防除方法や使用可能な薬剤等については、千葉県ホームページをご参照ください。)



写真1: 成虫の脱出口



写真2: ケブカトラカミキリ成虫



写真3: 樹皮下の幼虫食害痕



左: 健全樹、中: 昨年の被害樹、
右: 今年の被害樹



写真5: 垣根の被害

【写真: 千葉県HPより一部抜粋】

お問い合わせ先

- 成田市農政課 農林畜産係 ☎0476-20-1541
○印旛農業事務所 改良普及課 ☎043-483-1124